

R6 郡市別記録会運営方法について

群馬県小学校体育研究会 R6 改定

1 計時の仕方

○計時スタンドの中央によるように着席し、スタートの煙（光）と同時に計時を動かし、競技者がゴール10m前に来たら、必ずゴールラインに視線を合わせ、競技者の胴体の一部が決勝線に触れた瞬間に計時を止める。決して、競技者を目で追って計時を止めるようなことがないように注意する。

2 計時員

○3人1組で行う。

○3人のタイムが一致しない場合は、2人のタイムが一致した計時とし、それでも一致しない場合は、中間の計時とする。なお、2人しか計時できなかった場合は、下位の計時とする。100分の1秒以下は、切り上げとする。

例 15” 00 → 15” 0
 15” 01～15” 09 → 15” 1

3 走り高跳び

○高さは、バーの中心上端にあわせる。（スタンドの目盛りは参考程度）

○足の裏から着地しない場合は無効試技とする。

○同記録のため、県教室記録会への競技者が決まらない場合の決定は以下の通りとする。①何回目に最高記録を成功したか。優先順位 1回目→2回目→3回目

②無効試技回数は何回か。少ない方がよい。

4 走り幅跳び

○計測方法による実施をする。

○同記録のため、県教室記録会への競技者が決まらない場合の決定は以下の通りとする。

①セカンド記録

②サード記録

5 県大会出場者資格 →本会議および7月2日（火）第2回理事会での検討事項（資料は別紙参照）